

平成30年度

事業計画

社会福祉法人オークス・ウェルフェア

おーくす船場こども園

施設の名 称	おーくす船場こども園				
施設の所 在 地	茨城県那珂郡東海村船場592番1				
目 的	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとしての満3歳以上の子どもに対する教育並びに保育を必要とする子どもに対する保育を一体的に行い、これらの子どもの健やかな成長が図られるよう適当な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行う				
	定 員	保育を必要とする子ども数	満3歳未満	満3歳以上	合 計
		保育を必要とする子ども以外の子ども数	27人	43人	
	経 費 の 持 方 及 び 法 維	幼児連携型認定こども園の経費は、園児納付金その他の収入をもって支弁し、不足が生じたときは、設置者が負担する。運営に係る経費見積りについては、園児数を65名と見込み、別添の収支予算書のとおりとする。			
開 園 日 数 週 及 び 教 育		別紙2のとおり			
実施する子育て支援事業	別紙2のとおり				
開 設 年 月 日	平成28年4月1日				

職員に関して

園児等の 園定 児童 の状況	区分	満1歳未満		満1歳	満2歳	満3歳	満4歳	満5歳	合計
		保育を必要とする 子どもの数	保育を必要とする 子どもの数	9人	12人	14人	14人	15人	
		保育を必要とする 子どもの数	保育を必要とする 子どもの数	5人	5人	5人	5人		
学級数	をすも	※1	※2	※3	※4	※5	3学級	学級	85人
	をすも をすも をすも	(2人)	(3.5人)	(0.95人)	(1.3人)	(7.75人)			()
必要な 職員数	をすも をすも をすも	保育教諭 3人	保育教諭 4人	保育教諭 2人					
職員の配置	をすも をすも をすも								11人

教 育 保 育 概 要

施設 の 名 称	おーくす船場こども園		
教育 ・ 保育 の 念 理	<p>○生活スタイルの違う児童が入所する認定こども園としての特性を踏まえ、一人一人の発達過程を理解し、在園時間の長短に配慮した教育・保育を行う。</p> <p>○年長児については、小学校教育との円滑な接続を図るため、創造的な施行や主体的な生活態度などの基礎を培うための教育・保育を展開する。</p> <p>○健康・安全で幸福な生活のために必要な日常の習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図る。</p> <p>○集団生活を体験させ、喜んで参加する態度と協調する心、自主及び自立の精神の芽生えを養う。</p> <p>○社会生活及び事象に対する正しい理解と態度の芽生えを養う。</p> <p>○情緒の安定を図りつつ、乳幼児期にふさわしい経験を積み重ねられるよう援助し、保育士や友達との関わり方など様々な活動や遊びを通じた保育を行う。</p>		
開 園 日 数 及 教 育 週 数	300日/年	教育時間	<p>平日 9時00分～14時00分</p> <p>土曜日 時 分～ 時 分</p> <p>日曜日 時 分～ 時 分</p> <p>休日</p>
実施する子育て支援事業	事業名	実施日数	担 当 職 員
	親子のつどいの場提供事業	3日/週	保育士 6人(うち兼任 人) その他の職員 2人(うち兼任 人)
	一時預かり事業	5日/週	
	病児保育事業(病後児保育)	5日/週	
病児保育事業(体調不良児)	5日/週		
利 用 料	市町村が定める額とする		
		日/週	

管理運営等に関する計画

選考の方法	(1号認定) 願書受理開始日に入園申込が5名を超えない場合 ・申込順 願書受理開始日に入園申込が5名を超えた場合 ・先着3番目までは申込順 ・4番日以降の方に関しては、受理終了日まで入園願書を受理し、抽選 (2号・3号認定) ・村の選考基準に基づき利用調整を経た児童を入園する	
	<p>耐震, 防災, 防犯等子ども の健康及び安全を確保 する体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断は年間2回実施する。 ・防災と安全管理(防災訓練計画), 防災設備・備蓄品, 安全点検, 防犯設備等については別添のとおり。 ・地域住民との連携方法については, 月1回の避難訓練について地域住民と合同で実施し, 日常的に協力を得られる体制の構築に努める。 	
民間保険等への加入状況	保険の種類	保育所の損害補償に加入予定
	保険会社名	三井住友海上火災保険株式会社
情報開示の方法	保険金額(補償金額)	1億円/1名 5億円/1事故
	開示方法	ホームページでの情報提供
自己評価, 外部評価等の実施方法	開示する内容	園内の子どもの様子。教育・保育方針 月の予定, 緊急連絡先, 事故発生状況 等
	年1回の自己評価の実施	自己評価の実施方法は, 指定する評価項目について職員各自が評価し, 園内職員会議により実施する。 結果については, 保護者あての園だよりで公表するほか, 掲示板に掲載し公表する。
苦情窓口の設置状況	苦情受付担当者 (主幹)	苦情解決のための手続きについては ・入園者からの苦情を受け付け, 苦情内容及び保護者の意向等の確認を行う。 ・その上で, 苦情受付担当者が施設長へ報告を行い, 苦情申出人と苦情解決に向けて話し合う。 ・結果については, 書面に記し苦情申出人へ通知し完了。 周知方法は, ホームページに掲載するほか, 園だよりや掲示板に掲載すること周知する。

平成30年度 おく寸船場のご世圖 年間行事予定表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 火	1 金	1 金	1 火	1 水	1 土	1 土	1 土	1 土	1 火	1 金	1 金
2 水	2 土	2 土	2 月 <small>フール開き</small>	2 水	2 火	2 火	2 火	2 火	2 火	2 土	2 土
3 火	3 水	3 水	3 火	3 金	3 月	3 水	3 水	3 水	3 水	3 土	3 土
4 水	4 木	4 木	4 土	4 火	4 火	4 火	4 火	4 火	4 火	4 土	4 土
5 木	5 金	5 火	5 水	5 木	5 金	5 金	5 金	5 金	5 土	5 火	5 火
6 金	6 土	6 土	6 火	6 水	6 木	6 木	6 木	6 木	6 木	6 水	6 水
7 土	7 日	7 日	7 木	7 金	7 土	7 土	7 土	7 土	7 日	7 木	7 木
8 日	8 月	8 月	8 金	8 土	8 土	8 土	8 土	8 土	8 日	8 金	8 金
9 月	9 水	9 土	9 土	9 月	9 火	9 火	9 火	9 火	9 水	9 土	9 土
10 火	10 木	10 木	10 火	10 金	10 土	10 土	10 土	10 土	10 木	10 土	10 土
11 水	11 金	11 月	11 水	11 火	11 火	11 火	11 火	11 火	11 水	11 日	11 日
12 木	12 土	12 火	12 木	12 金	12 土	12 土	12 土	12 土	12 木	12 土	12 土
13 金	13 日	13 水	13 金	13 土	13 日	13 日	13 日	13 日	13 水	13 日	13 日
14 土	14 月	14 木	14 土	14 日	14 月	14 月	14 月	14 月	14 木	14 日	14 日
15 日	15 火	15 金	15 日	15 水	15 土	15 土	15 土	15 土	15 火	15 日	15 日
16 月	16 水	16 土	16 火	16 木	16 金	16 金	16 金	16 金	16 水	16 土	16 土
17 火	17 木	17 日	17 土	17 日	17 月	17 月	17 月	17 月	17 木	17 日	17 日
18 水	18 金	18 月	18 火	18 土	18 日	18 日	18 日	18 日	18 金	18 日	18 日
19 木	19 土	19 火	19 日	19 月	19 日	19 日	19 日	19 日	19 土	19 日	19 日
20 金	20 日	20 水	20 木	20 金	20 土	20 土	20 土	20 土	20 木	20 日	20 日
21 土	21 月	21 火	21 土	21 日	21 月	21 月	21 月	21 月	21 水	21 日	21 日
22 日	22 火	22 金	22 日	22 月	22 日	22 日	22 日	22 日	22 火	22 日	22 日
23 月	23 水	23 土	23 日	23 月	23 日	23 日	23 日	23 日	23 水	23 日	23 日
24 火	24 木	24 火	24 土	24 日	24 月	24 月	24 月	24 月	24 木	24 日	24 日
25 水	25 金	25 月	25 日	25 水	25 土	25 土	25 土	25 土	25 火	25 日	25 日
26 木	26 土	26 火	26 日	26 月	26 日	26 日	26 日	26 日	26 水	26 日	26 日
27 金	27 日	27 水	27 木	27 金	27 土	27 土	27 土	27 土	27 木	27 日	27 日
28 土	28 月	28 木	28 土	28 日	28 月	28 月	28 月	28 月	28 金	28 日	28 日
29 日	29 火	29 土	29 日	29 月	29 日	29 日	29 日	29 日	29 土	29 日	29 日
30 月	30 水	30 日	30 月	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 水	30 日	30 日
31 火	31 木	31 火	31 土	31 日	31 月	31 月	31 月	31 月	31 木	31 日	31 日

平成30年度研修計画

時期	対象者	内容	実施主体
開所前	全職員	新規入職者研修 アレルギ－、災害時対応、保護者対応、接遇、怪我の応急処置、伝染病、嘔吐下痢の処理等に関して	園内
4月	全職員	ヒヤリ・ハット、連絡帳の書き方研修	園内
	全職員	感染症対策研修	法人本部
5月	新卒者	社会福祉施設等新任職員研修	茨城県社会福祉協議会
	経験2年未満	社会福祉施設等新任職員研修	茨城県社会福祉協議会
	副主幹以上	法人経営第1回研修	茨城県社会福祉法人経営青年会
	障害児担当者 全職員	障害児保育担当者研修会 普通救命救急講習Ⅱ	日本保育協会 ひたちなか・東海広域事務組合 消防本部
6月	全職員	手遊び研修	園内
	乳児担当者 全職員	乳児保育担当者研修会 ゴールの遊び方・熱中症対策	日本保育協会 園内
7月	副主幹	研修担当者養成研修	茨城県社会福祉協議会
	中堅職員	全国幼児教育研究大会	全国幼児教育研究協会
	園長	園長等運営管理協議会	茨城県教育委員会
8月	全職員	性格診断、ストレスチェック	園内
	副主幹以上	全国認定こども園園長・副園長スウェッチング研修会	全国認定こども園協会
	副主幹以上	幼稚園教育課程研究協議会	茨城県教育委員会
9月	中堅職員	キャリアアップ研修	茨城県社会福祉協議会
	副主幹以上	全国認定こども園園長・副園長スウェッチング研修会	全国認定こども園協会
	全職員	造形、技法あそび	園内
10月	副主幹以上	法人経営第2回研修	茨城県社会福祉法人経営青年会
	中堅職員	幼児期の運動発達の特徴と運動の意義	茨城県教育委員会
	園長	全国保育所理事長・所長研修会	日本保育協会
11月	全職員	感染症対策研修	法人本部
	子育て支援 業務担当者 全職員	子育て支援担当者研修 読み聞かせ	茨城県社会福祉協議会 園内
12月	看護職、栄養士	保育所保健担当職員研修	茨城県社会福祉協議会
	中堅職員	保育所保育士特別研修	茨城県社会福祉協議会
1月	全職員	保育の言葉かけ研修	園内
2月	5年までの 職員	保育所保育士研修	茨城県社会福祉協議会
	全職員	スキルアップ研修	茨城県社会福祉協議会
3月	新卒及び新規 入植者 全職員	アレルギ－、災害時対応、保護者対応、接遇、怪我の応急処置、伝染病、嘔吐下痢の処理等に関して 年度振り返り研修	法人本部 園内

<p>年間 目的</p> <p>園長及び職員は、人間性を高め、保育の知識、技術及び施設運営の質を高めるよう、常に自己研鑽に努めていくことが大切です。職場全体で研修の意義、必要性に共通理解をもち、積極的、主体的に参画できる環境作りを心がけ、職員の資質向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが考えを出し、目標を持って取り組み、全体に伝えられるよう積極的に取り組む。 ・研修への積極的な参加、研修内容の企画への参加 ・職員の研修ニーズを分析し、適切な研修機会を確保 ・職員室に適切な研修計画を立てる 			
<p>国内</p> <p>研修の目的・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶保育教職員が問題意識をもって課題を学習する。 ▶日々の保育教育の中から相互に問題を発見し、学習する。 	<p>研修の形態</p> <p>国内研修会</p>	<p>参加形態</p> <p>全職員</p>	<p>研修期日</p> <p>5月、7月、9月、11月、1月</p>
<p>研修目的・内容</p> <p>地域の園、保育者同士の交流を深め 保育教育のための知識と技術の習得を目的とする。</p> <p>日常の保育教育に必要な音楽やリズム運動、造形絵画に関する保育教育技術の習得を目的とする。</p>	<p>研修の形態</p> <p>フロック保育協議会主催の保育 研究会</p> <p>民間団体及び保育業者主催の保育 技術に関する研修会</p>	<p>参加形態</p> <p>職員が分担して出席(1 回につき2-3名)</p> <p>保育教諭</p>	<p>研修期日</p> <p>年間4回</p> <p>随時</p>
<p>園外</p> <p>こども園の社会的な意義や役割、保育教育実践などについて理解を深め、自己の資質の向上を目的とする。</p>	<p>研修の形態</p> <p>フロック保育協議会主催の保育 研究会</p>	<p>参加形態</p> <p>全職員</p>	<p>研修期日</p> <p>随時</p>
<p>保育現場におけるリーダー的職員の育成、保育教諭の資質向上を目的とする。</p>	<p>研修の形態</p> <p>フロック保育協議会、社協等の 保育研究会</p>	<p>参加形態</p> <p>全職員</p>	<p>研修期日</p> <p>随時</p>
<p>保育教育事務に関する知識や技術の向上を目的とする。</p>	<p>研修の形態</p> <p>保健所等主催の 栄養管理及び衛生管理の研修会</p>	<p>参加形態</p> <p>園長・副園長</p>	<p>研修期日</p> <p>随時</p>
<p>給食調理や衛生管理に関する知識と技術の習得を目的とする。</p>	<p>研修の形態</p> <p>保健所等主催の 栄養管理及び衛生管理の研修会</p>	<p>参加形態</p> <p>調理員等</p>	<p>研修期日</p> <p>随時</p>

平成30年度 防災訓練計画

月	設定	訓練内容	訓練の配慮	避難場所
4月	ハチ対応	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練について話をする。 避難経路、役割分担を話し合う。 避難誘導訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き、避難誘導する。 周りを見ながら安全確認をし、室内へ誘導する。 	各クラス 担任
5月	地震	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路、役割分担を話し合う。 避難誘導訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 「ダウン・ドُمْ・ジ」の合図で体を丸めてかがむ事を話す。 避難場所が適切か、経路は安全か確認。 窓を全て閉める。 	各クラス
6月	地震⇒火災 (3歳児保育室)	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導訓練 初期消火 水消火器訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き、避難誘導する。を確保していく。 周りを見ながら、園児の安全を確認する。 新職員は、水消火器訓練を体験する。 	園庭
7月	雷	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路、役割分担を話し合う。 避難誘導訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き、避難誘導する。 周りを見ながら安全確認をし、室内へ誘導する。 	各クラス
8月	竜巻対応	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路、役割分担を話し合う。 避難誘導訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き、避難誘導する。 状況を見ながら、速やかに園児の安全を確保していく。 	各クラス
9月	火災 (調理室)	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導訓練 初期消火 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き、判断、避難誘導する。 	園庭
10月	地震	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路、役割分担を話し合う。 避難誘導訓練 	<ul style="list-style-type: none"> なぜ第3避難場所に避難するのか話をする。 車等)に気をつけながら、避難誘導する。 	園庭 ↓ 笠松
11月	地震⇒火災 支援室	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導訓練 初期消火 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着かせ、隣接施設へ誘導する。 安全確認する。 	オークス 東海
12月	地震	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き、判断、避難誘導する。 	園庭
1月	不審者対応	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路、役割分担を話し合う。 避難誘導訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で、合言葉「くまんぼち」で声掛けし、静かに誘導する その場から、安全を確認し速やかに誘導する。 出入口を、全て施錠する。 	各クラス
2月	火災 (0歳児保育室)	<ul style="list-style-type: none"> 時間知らされず、行う。 避難誘導訓練 初期消火 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き、判断、避難誘導する。 	学童室内
3月	原子力被害	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練について話をする。合う。 避難経路、役割分担を話し合う。 避難誘導訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 「ダウン・ドُمْ・ジ」の合図で体を丸めてかがむ事を話す。 避難場所が適切か、経路は安全か確認。 窓を全て閉める。 	各クラス

* 年齢・発達に応じて、各クラスで課題を持ち、避難訓練に取り組んでいます。

・机の下に隠れる。 ・部屋の中心に集まる。 ・ハンカチで鼻と口を覆う。

・「お・か・し・もおさない・かけない・しゃべらない・もどらない

・保育室以外の場所での避難方法・乳児クラスは避難車 & ベビーカーで移動、又は職員が抱える。

* 毎月、消防設備自主点検を実施。

* 室内周知は拡声器を用いたり、戸外には放送を使うなどして職員周知する。